

著作権の関係上、一部の問題を掲載していません。

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二 次の——線部の漢字の正しい読み方を、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

三 次の——線部のカタカナを、漢字で書いてねいに書きましよう。

1 会社に出勤する。

1 群れをヒキいる。

2 水が蒸発する。

2 ハンニンを追う。

3 美しい砂はまを歩く。

3 紙をきれいにオる。

4 物語の展開におどろく。

4 弟をツれて遊びに行く。

5 論理を組み立てる。

5 ナンキョクを探検する。

たんけん

■ 正答

二 1 しゅっきん 2 じょうはつ 3 すな 4 てんかい 5 ろんり

三 1 率（いる） 2 犯人 3 折（る） 4 連（れて） 5 南極

取り組んでみよう！

次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましよう。

1 テンコウがよくなる。

3 イチヨウヤクを買う。

2 学習のカダイを書く。

4 ショウテンガイを歩く。

答え

街店商

4

藤巻昌

3

課題

2

天候

1

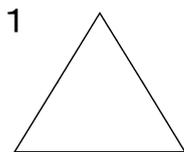
1 次の計算をしましょう。

(1) $3 \times 1\frac{1}{2}$

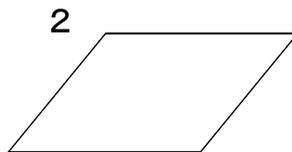
(2) $\frac{8}{9} \times \frac{5}{6} \times \frac{3}{10}$

(3) $1\frac{1}{3} \times 2\frac{7}{10}$

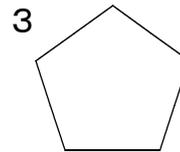
2 下の4つの図形について、次の問題に答えましょう。



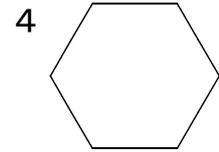
正三角形



平行四辺形



正五角形



正六角形

(1) せんたいしょう線対称な図形をすべて選んで、その番号を書きましょう。

(2) てんたいしょう点対称な図形をすべて選んで、その番号を書きましょう。

3 次の①、②の式に表される場面を下のアからエまでの中から選んで、記号を書きましょう。

① $27 - x = y$

② $27 \div x = y$

ア x ページの本があります。27 ページ読んだときの残りは y ページです。

イ 面積が 27 cm^2 の平行四辺形があります。底辺が $x \text{ cm}$ のとき、高さは $y \text{ cm}$ です。

ウ 男子が x 人、女子が y 人の学級の合計は27人です。

エ x 個のあめを27人で等分したら、一人分は y 個でした。

※次のページにも、問題があります。

4 $\frac{5}{6} \times \frac{1}{6}$ の計算の仕方を、次のように説明しました。

【説明】

かける数を整数にして考えました。まず、かける数を整数にするために、 $\frac{1}{6}$ を6倍しました。

$$\frac{1}{6} \times 6 = 1 \text{ なので、 } \frac{5}{6} \times \left(\frac{1}{6} \times 6 \right) = \frac{5}{6} \text{ となります。}$$

このままでは、積も6倍になるので、積を6でわって、 $\frac{5}{6} \div 6 = \frac{5}{36}$ となります。だから、答えは $\frac{5}{36}$ です。

この説明に合う考え方を、下のアからエまでのの中から1つ選んで、記号で書きましょう。

【考え方】

ア

$$\begin{array}{l} \frac{5}{6} \times \frac{1}{6} = \frac{5}{6} \div 6 \leftarrow \\ \downarrow \times 6 \\ \frac{5}{6} \times \left(\frac{1}{6} \times 6 \right) = \frac{5}{6} \end{array} \quad \begin{array}{l} \div 6 \\ \leftarrow \end{array}$$

イ

$$\begin{array}{l} \frac{5}{6} \times \frac{1}{6} = \frac{5}{6} \\ \downarrow \times 6 \quad \downarrow \times 6 \\ \frac{5}{6} \times \left(\frac{1}{6} \times 6 \right) = \frac{5}{6} \times 6 \end{array}$$

ウ

$$\begin{array}{l} \frac{5}{6} \times \frac{1}{6} = \frac{5}{6} \div 6 \leftarrow \\ \downarrow \times 6 \quad \downarrow \times 6 \\ \frac{5}{6} \times \left(\frac{1}{6} \times 6 \right) = \frac{5}{6} \times 6 \end{array} \quad \begin{array}{l} \div 6 \\ \leftarrow \end{array}$$

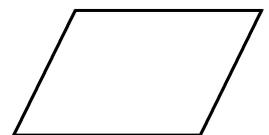
エ

$$\begin{array}{l} \frac{5}{6} \times \frac{1}{6} = \frac{5}{6} \\ \downarrow \times 6 \\ \frac{5}{6} \times \left(\frac{1}{6} \times 6 \right) = \frac{5}{6} \div 6 \leftarrow \end{array} \quad \begin{array}{l} \div 6 \\ \leftarrow \end{array}$$

5 右の図のような平行四辺形の対称たいしょうの中心のを見つけ方を、次のように説明しました。

【説明】

平行四辺形の2本の対角線を引き、交わったところが対称の中心です。



この説明の理由となる性質を、下のアからエまでのの中から1つ選んで、記号で書きましょう。

- ア 対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の軸じくと垂直すいちよくに交わります。
 イ 対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の中心を通ります。
 ウ 対称の軸と交わる点から、対応する2つの点までの長さは等しくなっています。
 エ 向かい合った辺の長さは等しくなっています。

〔算数〕小6 組 番 氏名

1

$$(1) 3 \times 1\frac{1}{2} = \frac{3 \times 3}{1 \times 2} = \frac{9}{2}$$

帯分数は仮分数に直してから計算します。

$$\frac{9}{2} \quad \left[4\frac{1}{2} \right]$$

$$(2) \frac{8}{9} \times \frac{5}{6} \times \frac{3}{10} = \frac{\overset{\times 2}{8} \times \overset{\times 1}{5} \times \overset{\times 1}{3}}{\underset{\div 3}{9} \times \underset{\div 3}{6} \times \underset{\div 1}{10}} = \frac{2}{9}$$

計算の途中で約分できるときは、約分してから計算します。

$$\frac{2}{9}$$

$$(3) 1\frac{1}{3} \times 2\frac{7}{10} = \frac{\overset{\div 3}{4}}{\underset{\div 1}{3}} \times \frac{\overset{\div 2}{7}}{\underset{\div 5}{10}} = \frac{18}{5}$$

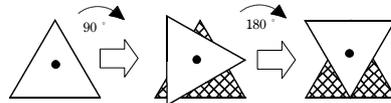
$$\frac{18}{5} \quad \left[3\frac{3}{5} \right]$$

2

(1) 1、3、4

(2) 2、4

1つの点を中心にして180°回転させたとき、もとの図形にぴったり重なる図形を、点対称な図形といいます。



※正三角形を1つの点を中心にして、180°回転させると、もとの図形とはぴったり重なりません。正三角形は点対称な図形ではありません。

3

ーや÷の意味から、式が何を表しているのかを考えます。

① ウ

② イ

4

ア

説明にそって式と比べながら考えることが大切です。

5

イ

平行四辺形の対角線は、対応する2つの点を結ぶ直線なので、「対応する2つの点を結ぶ直線是对称の中心を通ること」を理由に、対称の中心が見つけれられる理由を説明することができます。